



## 平野 広行 議員 政新会

# 問 弥富市地域強靱化計画とは

# 答 津波高潮、河川氾濫への対策



しもすいもん  
▲鍋田川下水門

東日本大震災から10年が経過し、津波に対する危機意識が薄れてきているように感じる。本市において、いかなる自然災害が発生しても機能不全に陥らない指針となる「弥富市地域強靱化計画」について以下を問う。

**問** 津波ハザードマップとは。

**答**〔総務部長〕津波から命を守るためのもの。

**問** 洪水ハザードマップとは。

**答** 河川氾濫による「区域」と「水深」を、「洪水浸水想定区域図」として公表したもの。

**問** ハザードマップに基づく防災訓練の取り組みは。

**答** 浸水区域及び水深の深さの確認・避難所までの避難経路の確認・ハザードマップの保管場所や非常時持ち出し品の確認・家庭で災害に遭った場合の対応方法の確認を記載しているハザードマップを利用し、各学区コミュニティや、自主防災会における防災訓練の実施。出前講座での指導、助言。

**問** 鍋田海岸高潮堤防の強化対策の進捗状況は。

**答**〔建設部長〕令和5年度事業完了予定。

**問** 鍋田川下水門の耐震工事の進捗状況は。

**答** 第3次あいち地震対策アクションプランに基づき、本年度は水門の上部の補強工事を完了予定。

**問** 尾張大橋付近にある土のう袋設置についての説明内容は。

**答**〔総務部長〕木曾川下流河川事務所より、設置箇所や、時系列による道路の通行止めや避難行動のタイミングなどが説明された。

**問** 津波・高潮からの避難場所確保の進捗状況は。

**答** 市全体で、収容人数5万5610人、収容率126・2%

**問** 海部農業改良普及センターの避難場所は。

**答** 2階部分を津波・高潮緊急時避難場所として指定する予定。

**問** 本市を浸水から守る市長の考えは。

**答**〔市長〕内水氾濫の発生を防止するため、日光川河口部に排水機の設置をもう1機要望していく。

農業用排水機は、排水能力の維持・増強のため更新整備を適時適切に行っていく。

農業用排水路の更新整備も順次行い、内水氾濫を抑制。

尾張大橋周辺の浸水対策として、止水扉の設置、木曾川の浚渫工事を要望し、本市の安全を守る。